

# 一般社団法人 先端膜工学研究機構

## 先端膜工学研究機構「研究助成」公募要領

### 1. 研究助成の目的

先端膜工学研究機構(以下「当機構」という。)は、先端膜工学センター(以下「センター」という。)との連携を通じて、産業界のニーズを大学の研究や教育に反映させるとともに、その成果の普及に努めることにより、膜工学に関する産業技術の向上と人材の育成を図ることを目的とし、平成19年に設立されました。

本研究助成は、センターの学術研究に対する助成を通じて、膜工学の発展や産業界への応用に寄与することを目的とします。

### 2. 応募資格

センターに所属する常勤の教員(原則として45才以下、特命教員を含む)

### 3. 採択数

3件以内

### 4. 助成額と研究期間、助成金の振込時期

1件あたりの助成額は100万円以内とします。研究期間は平成27年6月から平成28年3月末までです。

### 5. 助成金の使途

以下の費用を申請可能です。費目間の分配比率に指定はありませんが、資金計画の適否も審査の対象です。

1. 設備・備品費(主たる使途にしないこと)
2. 消耗品費
3. 旅費
4. 謝金(アルバイトなどの労役対価)
5. その他(印刷費・通信費・図書費・施設使用料・学会参加費・会議費など)
6. 間接経費

### 6. 応募方法

当機構のホームページから申請書様式をダウンロードして、平成27年4月13日(月)～平成27年5月15日(金)までに、下記窓口に提出してください。メール添付での申請の場合、申請の1週間後までに申請受領の確認メールが届かない場合には、事務局までご確認ください。

<お問い合わせ・申請書提出窓口>

一般社団法人先端膜工学研究機構 事務局 Tel: 078-871-6954、e-mail: eng-membrane@research.kobe-u.ac.jp

### 7. 採否通知

平成27年5月下旬に全申請者に採否を通知します

### 8. 選考のポイント

1. 課題の学術的重要性・妥当性
2. 研究計画・方法の妥当性
3. 研究課題の独創性及び革新性
4. 研究課題の波及効果及び普遍性
5. 研究遂行能力及び研究環境の適切性

## 9. 研究助成金の会計処理

当機構からの寄附金として振り込みますので、神戸大学の研究費使用規程に従って会計処理をお願いいたします。

## 10. 採択後の提出物等

下記の書類の提出ならびに成果発表をお願いします。

1. 予算申請書:平成27年6月に提出
2. 決算報告書(形式自由):平成28年5月末までに提出
3. 成果報告書(A4 3枚程度、形式自由):平成28年5月末までに提出  
(当機構発行のニュースレター(平成29年3月発行予定)に掲載します)
4. 膜機構選考委員会及びセンター成果発表会での成果発表  
(当機構関係企業から共同研究等の申し出がある場合があります)

## 11. 学会等での成果発表と成果の帰属

産業応用という本研究助成の目的の達成のため、当機構では成果の特許出願を推奨いたします。そのため、成果の学会等での発表に際しては、発表予定日の3か月前までに、その発表内容を書面(※1)にて神戸大学連携創造本部(※2)まで通知してください。(内容によっては、神戸大学への発明届出書の提出をお願いする場合があります)

本研究助成の研究成果ならびに関連した知的財産権は、原則として神戸大学に帰属いたします。

※1 発表通知書:A4 1~2枚程度。形式自由。発表内容の主要素に対して、発表済(公知)と未発表(新規)の別を明記。例:ろ過プロセス(公知)、膜材料(公知)、膜構造(公知)、膜製造方法(新規)など

※2 本件の担当:連携創造本部 西原(内線5945、knishi@port.kobe-u.ac.jp)